



なにしょんな

ふるさと会よりご報告

会長(高松市観光大使)



池田 克彦
今年の夏は日本を上陸する台風が多く発生しましたが、ふるさと香川高松塩江は雨がなく乾燥した7月と8月。お蔭で松茸が生えず空振りのシーズンとなり少し残念。さて、年2回発刊の会報も33号をむかえました。広報誌等から以下ご報告します。

1. 第3回瀬戸内国際芸術祭が春・夏・秋に分けられて開催され後述しますが、我がふるさと会も東京・別海ふるさと会と共同で参加しました。
2. 4月9日(土)3月31日付で塩江支所長を定年退職された和泉さんのご慰労会を塩江の菊寿司で開催。尾形さん、藤沢英さん、松本さん、小笠原さん、藤沢保さん、早井さん、岡本さん、後藤さんらふるさと会メンバーらとお世話を頂いた御礼をしました。4月1日付けで新任の支所長に岡本正昭氏と吉廣保夫氏が着任された。
3. 6月高松市議会で町出身の佐藤好邦市議員が高松空港へのアクセスなど公共機関がインフラ整備に関与し、運営を民営化する上下分離方式を活用した軌道系のインフラ整備を促進する考えと塩江地区の新たな駐車場など一般質問。
4. 塩江町のホテル祭が6月開催(ふるさと会から賛助金3万円)8月には温泉まつり、11月にはもみじ祭がそれぞれ開催されました。
5. 8月終戦記念日前、大西さん、藤沢保さんに案内され我がふるさと塩江上西柿野にありますインパール作戦に従軍した山砲兵31連隊のビルマ慰霊碑(佐藤中将追慕の碑)を参拝しました。この作戦で塩江からの戦没者6名が分かりました。同じく上西:安原(最明寺)の忠魂碑をふるさと会で清掃・草刈と鎖パイプの補修等行い、参拝を致しました。年度内出来ればインパール慰霊事業支援を予定したいと思えます。



6. 8月14日(日)高松市主催の夏恒例行事である高松踊りが開催されました。大西市長先頭に夏の夜の踊りは盛り上がり最高潮でした。



7. 奥の湯温泉・自然休養村センターが施設の老朽化から来年2月末で営業を終了とありました。
8. 地域行政組織の再編が進められてこれまでは本庁から支所の2層構造から本庁⇄総合センター⇄支所の3層構造に。しかし当分の間、塩江・庵治・香南は名称変更しないとあります。
9. 高松市民病院塩江分院の診療科目に脳神経外科を新設。10月16日環境ワークショップIN奥塩江が塩江上西モモの広場で開催、我々ふるさと会メンバーが立ち寄り参加させて戴きました。塩江物語第4話牛鬼:山田蔵人伝が島上さん力作が完成しました。塩江美術館で10月29日からかが

わ・山なみ芸術祭が開催されました。



10. 10月23日旧安原小学校の施設を利活用した塩江町歴史資料館が開館しました。江戸時代塩江の儒学者藤澤東咳先生と南岳先生らの資料を展示。資料館整備にふるさと会から20万円寄付。



11. 10月28日会員である高久由紀子さんのシャンソンコンサート、るたん・フェスティバルが都内新橋ヤクルトホールで開催されました。塩江特産米として新米を関東・関西に向け約2200Kg出荷販売支援しました。11月4日都内品川プリンスホテルで東京香川県人会が開催され参加、ふるさと会から総会資料に広告を掲載しました。
12. 東京・別海ふるさと会との交流事業を行いました。根室秋刀魚祭り・秋の産直販売・暑気払い・合同旅行・総会などです。ふるさと会の役員会を食事会兼ねてJR四ッ谷駅前スクワール趣町で開催しました。

特集 松茸狩りと瀬戸芸の旅

10月16日から松茸狩りと第3回瀬戸内国際芸術祭に東京・別海ふるさと会と合同で出かけました。松茸でご指導戴いている京都吉村先生一行と山へ入ったのですが7月・8月降雨がなくサッパリ。帰京時1kg10万円の松茸が道の駅に出たとか。地元会員・関係者とのふるさと交流会は実に賑やかな宴でした。船をチャーターして犬島・豊島・男木島へ島巡り。天候に恵まれ、瀬戸内の空間とマッチしゆっくりした行程と島のランチが受けてホッとしました。旅参加者からご寄稿戴きましたのでご紹介しご寄稿者に紙面から僭越ですが御礼を申し上げます。



ふるさと塩ノ江と瀬戸芸の旅

ふるさと会会員 理事 岡本 幸江
10月16~18日間のふるさと会と東京別海ふるさと会合同の旅でした。1日目は、旧安原小学校施設

の町歴史資料館を見学。資料館には藤澤東咳先生らの足跡を紹介。東山の別子と言う場所に、大蛇を退治したと伝えられる別子八郎のお墓があり、お墓は道幅の狭い山あいの厳しい尾根近い場所にあります。その帰り道、私が卒業した懐かしい旧上西中学校で環境ワークショップが開催、桃の広場を訪ね、思わぬ歓迎を受け地元の美味しいお茶を戴きました。その後松茸山へ、残念ながら松茸にお目にかかれませんでした。夕食は、地元の有志ふるさと会員達と交流会、全員自己紹介しながら秋の日長を楽しみました。ふるさと会員として、今回何度目の帰省なのか、帰る度どことなく変わり行くような気がし

ます。大阪に住み今後何回ぐらいこの風景を見ることが出来るでしょうか。今回は第3回目の瀬戸内国際芸術祭で犬島、豊島、男木島と貸し切り船で渡り、犬島に続き、豊島の海のレストランは、地中海に居ると錯覚しそうな海辺の場で、オリーブ牛とワインがマッチし好天気のもと、海と空がブルー一色の景色を見ながら最高に美味しい食事を戴きました。



豊島から船で30分ぐらいの男木島に始めて来ましたが、喜びも悲しみも幾歳月の映画の灯台があります。古い映画で高峰秀子さん佐田敬二さんの夫婦役で灯台守をした物語です。アケビが豊富で灯台へ行く道、皆でワイワイ言いながら取り放題、皆さん久しぶりに童心に帰った感じでした。島は、急な坂道ばかりで、年配者には買物に便利な、おんぼと言った手押し車(乳母車)のような物が海外にも紹介され展示されていました。島の人全員の個々の思い出を瓶の中に入れ風鈴のように吊るした芸術品も観賞しました。生活の知恵と言うか島の人達は努力家ですね。九谷焼とか?花を広い部屋につるした作品など、芸術の心得ない私には、理解出来ない作品もありましたが、楽しい島巡りでした。帰り1人残してうっかり船が出航し置いて来ばりを食う会員を岸壁で発見、手を盛んに振っている姿に船を引き返したハプニングがあり大笑いでした。最後は栗林公園の菊月亭で庭園を観賞しました。素晴らしい庭園で香川県人の誇りですね。今回の旅は天候にも恵まれて愉快で楽しい旅でした。関係者の皆様に感謝申し上げます。(大阪府在住 塩江上西出身)

「瀬戸内国際芸術祭と塩江松茸狩りの旅 雑感」



ふるさと会会員 梶野 茂
天気よし・気温よし・仲間よし・事故なしの楽しく、充実した旅行になりました。池田会長やお世話になった皆

さんに感謝しつつ、「旅行雑感」を記します。(羽田・塩江にて)・この得も言われぬもの羽田に集まったとたん、皆、打ち解けて、安心感ややすらぎが生まれてくる。生まれた年も違い、その後の人生も様々なのに、塩江出身というだけで、こんなに、親しみがよみがえる「ふるさと」って、一体なんだろう。そんな思いを抱きながら、別海町ゆかりの人も含め総勢15名、一路高松空港へ。

・塩江の偉人たち 歴史資料館・別子八郎の碑を見学。恥ずかしながら、初めて聞くこと・見ることばかり。自分の不勉強を棚に上げて、なぜ中学の授業で教えてくれなかったかと思ってしまう。今もそういう授業はないらしい。・松茸狩り 上西にて、松茸狩り。池田さんから99%ないとの予防線を張られたが、昔取った杵柄でという気持ちで松茸

山へ。しばし、松の間を這い回るも全員空振り。しかし、昔キノコ採りをした思い出に浸り満足。

・さびれゆくふるさと 懇親夕食会で、「塩江・奥の湯温泉」が来年2月閉館になるという悲しい話を耳にした。この温泉は、水質がよくて評判になり、県外からも湯治客が来て、民宿が栄え、多くの雇用を生んだ。建物の老朽化とお客の減少の故であろうが、なんとか再開の道はないのか。こうして、ふるさとがさびれてゆくを見るのは誠に無念である。

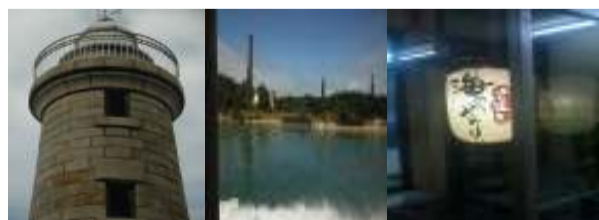
(犬島・豊島・男木島にて)・島々の再生 瀬戸内国際芸術祭の作品と島の史跡を見学。平日なのに、観光客が多い。民家の庭や家屋を利用したアートやオブジェが島の各所に展示されていて、若者たちが楽しんでいる。島の人たちも、努力している様子が伺え好感が持てた。塩江にも美術館や史跡は多い。企画しプロデュースすることは出来ないものかという思いが強い。お昼は豊島。「海のレストラン」という素敵な店で、美味しいランチ。今回の旅NO1の人気。・爆笑アワビ?獲り 男木島で、「喜びも悲しみも・・・」の灯台に発射する際、池田さんから、ここでは「歩きながらアワビが獲れる」という案内。不思議に思っていたら、すかさず、アワビではなく、アケビという声。池田さんの「ユーモア」なのか「単なる読み違い」なのかは不明だが、大爆笑。道々、歓声をあげながら、アケビの大収穫。この後、皆さんは栗林公園を散策したのですが、私は勝手ながら、公園前で失礼しました。皆さんありがとうございました。(都内世田谷区在住 塩江上西出身)



瀬戸芸と松茸狩りの感想

ふるさと会 会員 三国 悦子
旅行に参加させて頂き、ありがとうございました。晴天で暖かく最高の行楽日和となり幸運だったと思います。重い荷物が

気になっていたのですが、バス、船すべて貸し切りで有り難かったです。1日目は塩江町歴史資料館で藤澤東咳氏の書道他。奥野の千本桜への入り口?上西中学跡の隣での大滝茶を飲ませていただき。東山小の奥の別子八郎の碑・松茸山・懇親会・夜明けの霧に埋もれた内場ダムの水面。翌朝訪れた山田蔵人の碑・岩部八幡の大銀杏等。塩江物語に出てくる場所も多く、眼を凝らしながら盛り沢山の一日でした。2日3日は、瀬戸芸の犬島、豊島、男木島をクルージング。波もなく静かな海でした。製錬所の煙突、アート作品の数々、島の散策では海に泳ぐママカリらしき魚の群れに興奮したり。映画「よろこびも悲しみも・・・」のロケ地燈台への道中、あけび採りに大奮闘。沢山歩きました。海のレストランでのオリブ牛と香川ビール。庵治観光ホテルの新鮮な魚料理とかがり火、燈台の灯。味も眺めも最高、大満足の楽しい3日間でした。計画して下さった池田会長さん、お世話して下さいました。本当にありがとうございました。(山梨県在住 上西松尾出身)



国際塩江松茸狩りの旅



渡部 孝子

塩江町の温暖な気候と歴史文化にふれた今回の旅は楽しく有意義でした。高松空港よりバスで塩江町歴史資料館へ行きオープン前なのに入館しました。藤澤東咳・南岳先生のすばらしい書や絵画や展示物に感動いたしました。塩江町の誇りです。昼食後は別子八郎の石碑を参拝、里人を困らせた大蛇を弓で退治した伝説を聞きました。地元ふるさと会員と関係者との懇親会が開催され、歌あり特技芸ありで盛り上がりその中で別子八郎の歌も披露されていました。2日目は先ず山田蔵人の碑を参拝、ふるさと会池田克彦会長の祖先で牛鬼を退治した伝説の偉人です。牛鬼は420年前豊臣秀吉が朝鮮出兵の時に捕虜として連れてこられました。言葉も分からぬ食料不足で野生化し悪さをする様になった牛鬼を弓の名手である山田蔵人が退治したのです。



伝説の碑を後に海上タクシーで島巡り、大島精錬所遺稿や島内散策。豊島は貸切バスで案内を受けながら1周。オリブ畑の間に見える瀬戸内の海の眺めは見事でした。3日目は男木島へ行きました。灯台資料館まで歩いて行きやっとの思いでたどり着いたので、灯台を守っていた当時の厳しさが偲ばれました。その後栗林公園の菊月亭ですばらしい庭園を眺めながらお茶席で一杯は癒されました。天候に恵まれ楽しい思い出深い旅でした。有難うございました。(都内中野区在住)

特別寄稿



塩江町地域おこし協力隊の淵崎

はじめまして。淵崎義之(フチザキ ヨシノブ)と申します。昨年の8月に地域おこし協力隊として塩江町に来ました。その名の通り、塩江町で地域おこしを

しています。着任当初は初めての土地で、知り合いもおらず、何をしたらよいか分からない状態でしたので、色々なイベントに出て、まず私を知ってもらうように努めました。そのかいあって、徐々に私のことを知ってもらい、今では色んな人から声もかけられるようにもなりました。塩江町の方々が暖かく受け入れたことに、とても感謝しています。塩江に来てからの約一年間で、色々な活動をしてきました。休耕田で塩江の特産の炭谷ゴボウの栽培、また塩江小学五年生と赤い花のソバの栽培をしたり、野外ステージでコミュニティの祭りを主催したりしました。特にコミュニティの祭りは思い出深く、ボランティアで延べ100人もの町民の方々が手伝ってくれ、その事に感激して、開会式で涙が止まりませんでした。協力隊の任期は残り1年4ヵ月。塩江町をもっと沢山の方々に知ってもらうべく、活動していきます。今後とも、よろしくお願いいたします。なお、活動はfacebookで報告していますので、お時間のあるときに見ていただくと嬉しいです。以下を入力するか、

<https://www.facebook.com/yoshinobufuchizaki>

「塩江町地域おこし協力隊」で検索して下さい。

ビルマ慰霊碑に想う。

池田 克彦

上西にあるビルマ慰霊碑に建立(平成8年)は植松緑さんと記してあり何方かと調べたところ、靖國借

行文庫等で鯨・烈山砲戦誌の中に植松緑陸軍軍曹の記述を見つけ「我が生還の記 第7中隊 植松緑」非常に驚きました。善通寺で部隊編成し中支戦線で従軍、31師団(烈)31山砲兵連隊に編成替えとなりビルマのインパール作戦に参加。この戦闘で7中隊(第2大隊)は104名戦死者を出し当初の生き残り僅か15名中に植松軍曹が生還。東川遺族会長ご紹介で戸石の黒川富彦さんが、今回インパール慰霊に参加されますが(インパール作戦で戦死した黒川健太郎さんの甥で健太郎さんと植松軍曹とは同部隊)ピンレブで戦死した叔父さんの慰霊、私と一緒に行く予定。植松軍曹がインパールから生還し戦死した戦友の霊を鎮める為、あの上西の丘に慰霊碑を建立された意味が分かりました。凄惨を極めてコヒマの戦闘からトンへの撤退しアラカン山脈を超えた山並みが上西の山並みに似ているとして、あの丘に碑を建立したとありました。植松軍曹は並外れた優秀な下士官で中隊の模範であつた様です。英印軍と壮絶な戦闘しながら食糧の補給が全くなくチンドウイン河トンへへ撤退し、その間幾多の戦友を亡くした記述があります。その植松軍曹の妹さんが藤沢テルエ様と先日お会いした。これまた驚きでご本人に何うとあっさり「そうや」と兄は頭がよく、よーできよつたと言。これまで藤沢さんと面識あったが奇縁。先日、香川町在住の植松軍曹の未亡人に黒川さんとお会いし植松緑著作の「戦友に捧ぐ」冊子を戴きました。塩江出身者でインパール作戦の戦死者が6名おられます。香川県遺族連合会真鍋会長にインパール慰霊で黒川さんにご挨拶に伺った折、旧高松市周辺地出身者が多数戦死していることが分かり驚きました。戦後70年経過していますがご遺族にとりまだ風化していない印象です。NPO法人アジア太平洋英霊顕彰会を私と友人で8月に立ち上げ、初年度インパール作戦地慰霊を計画、香川県・高松・塩江がドンドン近づくに驚きと何かに引っ張られている不思議な感じがします。正直言えば上西にビルマ慰霊碑があるのをこの5月迄知らなかったのです(同期の亀井国彦君が調べ報告くれました。同君が時折草刈等清掃に行っている様です)



事務局よりお知らせ

①年度内実施で旧日本陸軍31師団(烈)31山砲兵連隊(善通寺編成)のインパール作戦地慰霊の旅をふるさと会が支援予定です。

②牛鬼を退治した山田蔵人の命日と云われている29年2月2日にイベントを予定します。

編集後記

今年は全国的に台風通過と雨が多く風水害もあり地震も多い感じです。しかしながら我がふるさと塩江はたいした災害もなくただ夏の降雨量が少なかった。お蔭で松茸が・・・・。

次号は来年春を予定します。(編集人 小川奈々)